

ASC CoCモジュール レビュー

第2回協議：2026年3月2日～2026年5月2日

連絡先：assurance@asc-aqua.org



Setting The
Standard for
Seafood

ぜひ皆様へ共有してください

意見募集期間は3月2日から5月2日まで

- [相談に関するアンケートへのリンクはこちら](#)
- 利害関係者向けQ&Aセッションへの参加登録：
[3月23日 10:00 \(UTC\)](#)
[3月23日 : 17:00 UTC](#)
- [改訂版モジュールおよび詳細情報はここで確認できる。](#)



ASC CoCモジュールレビュー

目次

- はじめに
- 協議のための提案：
 - 人権
 - 人道的な絞め
 - 食品安全



This product comes from a farm that has been independently certified to the ASC standard for responsibly farmed seafood. For more information, visit www.asc-aqua.org (ASC-C-00894)



Setting The Standard for Seafood

CHANGE

はじめに



Setting The
Standard for
Seafood

ASC CoCモジュールレビュー：概要

これはASC CoCモジュールの見直しに関する第2回の意見募集である。

本協議を通じて、ASCは、以下の事項に関する提案の実現可能性および有効性について、利害関係者からの意見を求めている：

1. 人権
2. 人道的な絞め
3. 食品安全に関する改正
4. トレーサビリティ（追跡可能性）および適合性に関するその他の変更
5. サプライチェーン・モジュール文書

初回30日間のコンサルテーション（2025年6月）

改訂版モジュール提案書の作成
（2025年7月～2026年1月）

第2モジュール審査に関する協議（60日間、2026年3月～5月）

実現可能性試験、影響分析
（2026年4月～7月）

ASCガバナンスの承認を得るための最終稿を準備
（2026年8月-10月）

改訂版「ASC サプライチェーン・モジュール」提供開始（2026年11月、2027年5月より有効）



Setting The
Standard for
Seafood

ASC CoCモジュールレビュー：背景

ASC CoCモジュール MSC CoC基準に要件を追加。

- ASC CoCモジュールはMSC CoCに要件を追加した。これらの要件は、水産物に関する不正、食品安全、適法性、物質の検出、および技術の活用に対処することで、ASC認証の製品の保証と価値を強化するように設計された。
- ASC CoCモジュールの開発は2019年に始まった。モジュールは2022年5月にリリースされ、2023年5月に発効した。食品安全要件には1年間の猶予期間が設けられた。
- MSC CoC制度およびASC CoCモジュールは現在見直し中である。
- 2025年6月に、ASCは、CoCモジュール・レビューの付託事項および人権に関する技術作業部会の設置について初回協議を開催した。



Setting The
Standard for
Seafood

ASC CoC モジュールレビュー：目的

主目的は、以下のトピックを対象にモジュールをレビューすることである。

新しい人権

ASC認証のサプライチェーン企業に対する要件

新しい人道的な絞め

要件

サプライチェーンで該当する場合

食品安全の向上

要件

その他の改善：

MSC CoCの整合、デジタル・トレーサビリティ（追跡可能性）、ASCインプルーバープログラム製品

プロジェクトのTerms of Referenceを含む追加のプロジェクト関連リソースについては、[ASC CoCのウェブページ](#)を参照のこと。



Setting The
Standard for
Seafood

ASC CoC モジュールレビュー :

2025年 初回コンサルテーション入力

利害関係者から以下のフィードバックを受けた。

目的および範囲

- 提案されたトピックの包含をサポートする。プロセスの包摂性と結果の実現可能性を確保する。

人権

- ASCにとって重要な分野であることは認識されているが、人権をどの程度取り上げるべきかについては見解が分かれている。コストと複雑性は一部の企業にとって課題である。

人道的な絞め

- 利害関係者や地域によって見解は多様であり、実現可能性に関する疑義が一部で提起されている。

食品安全

- 要件の維持および追加の制度の承認を支援する。一部の企業は、コスト、物流、要件の順守に課題に直面している。

その他のトピック

- デジタル・トレーサビリティ（追跡可能性）に対する柔軟かつ包摂的なアプローチを支援する。
- ASCインプルーバープログラムの製品は、CoC、デジタル・トレーサビリティ（追跡可能性）、またはその両方によって保証され得る。

[2025年協議サマリー報告書を参照](#)

初期協議を経て、ASCは以下を実施した。

- 提案の策定に向けて、協議のフィードバックを分析した
- ASCの市場、アシュアランス、リーダーシップの各チームから意見を収集した
- 人権に関する技術作業部会を2回開催した
- 要件案を作成した

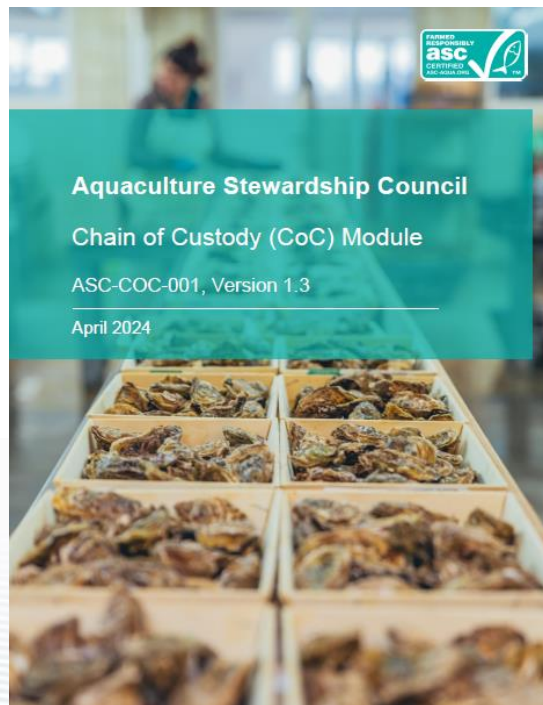


**Setting The
Standard for
Seafood**

ASC CoCモジュール・レビュー：新しい文書タイトル

ASC CoCモジュールはASCサプライチェーンモジュールになった

レビューの成果の一つは、ASC CoCモジュールからASCサプライチェーンモジュールへの名称変更である。新名称は、トレーサビリティ（追跡可能性）を超えるサプライチェーン関係者向け要件の追加を反映している。



Setting The
Standard for
Seafood

CHANGE

人權



PALLET # 575922
2000902
GILL IN - 225417 P 14-16
1889 14 28 09
757 36

FRESH ATLANTIC SALMON
2000902
GILL IN 225417 P 14-16
4 58.90 Lb 26.72 kg



Setting The Standard for Seafood

ASCの人権に関するビジョン

- 我々は、水産養殖業が世界的な善の推進力となり、従業員と地域社会の人権が尊重されるだけでなく積極的に前進させられる姿を構想している。
- 我々は水産養殖業における人権の基準を定めることで、業界全体の変革を推進する。イノベーションと権利保有者およびパートナーとの協働を通じて、これらの基準の実施を支援し、人々に前向きな影響をもたらす実践的なツールと戦略を創出する。
- 詳細は、[水産養殖業における人権](#)に関するASCのウェブページを参照。



**Setting The
Standard for
Seafood**

人権：認証されたサプライチェーンに対する要件

人権に関する提案は、提案中のモジュール改定の重要な要素である

- ASCは人権の制度を着実に発展させてきたため、人権に関して、養殖場基準およびASC飼料基準ならびにASCのビジョンとの統合が必要である。
- MSCのCoC規格は人権に焦点を当てていない。
- 養殖水産物のサプライチェーンでは人権侵害と劣悪な労働条件がリスクであり、このテーマは世界のメディアの注目を集めてきた。
- ASCはサプライチェーンにおける人権に関する要件を強化することを提案する。



人権に関する提案：概要

ASCはASC CoCの認証書の所有者に対して以下の要件を提案する

ASC人権行動規範を
実施する



行動規範、抜き打ち審査、是
正措置および透明性にコミッ
トする

人権方針を公開し、
労働者への周知を確
保する



人権に関連する情報を
CoCの審査員に提供する

人権に関する提案：行動規範



1. サプライチェーンの企業は、ASCの養殖場基準およびASC飼料基準のASC要件に整合しつつ簡素化された人権行動規範を実施し、リスクベースのアプローチで検証する必要がある。その規範は以下を対象とする：

- 法令遵守
- 採用
- 強制労働
- 児童労働
- 差別とハラスメント
- 健康と安全の確保
- 団体交渉する権利と結社の自由
- 契約、賃金および労働時間
- 苦情申し立ての仕組み
- 地域社会への参画

人権に関する提案：コミットメント



2. サプライチェーンの企業は、次の事項へのコミットメントを文書化する必要がある：

- 人権行動規範を実施する。
- ASCが選定した代理者による、当該規範への適合性に関する抜き打ち審査を受け入れる
- 抜き打ちの審査・評価の結果、必要と判断された場合は是正措置を実施する。
- 人権方針および是正措置を含む抜き打ちの審査・評価の結果について、公に透明性を確保する。
- 要請があれば、いかなる第三者の労働審査の結果もASCと共有すること。
- ASCから要請があれば、人権保証ツールの使用に参加し、
- 該当する場合、審査および評価並びに是正措置プロセスの費用を負担する

人権に関する提案：人権方針



3. サプライチェーンの企業は、全労働者に周知される人権方針を公表する必要があり、その方針は次の事項を対象とする：

- 結社の自由と団体交渉する権利の効果的な承認
- 強制または義務的労働のあらゆる形態の撤廃
- 児童労働の効果的な廃止
- 雇用及び職業に関する差別の撤廃
- 安全で健康的な労働環境
- 周辺地域と良い関係性を保ち、権利を尊重すること。



4. サプライチェーンの企業は、CoCの審査員に人権に関する情報を提供する必要がある。

人権に関する提案：審査機関と審査員の役割

ASCはCoCの審査機関および審査員に対して以下の役割を提案する

1. CoC審査で検証すること：

- 行動規範およびその他の要素に対する文書化された企業のコミットメント
- 人権方針が公表されている。
- 労働者が人権方針を認識していること

2. 人権に関連する、労働者の人口統計情報などのデータをCoC審査で収集し記録する（このデータはASCのデータに基づくリスクツールへの入力となる）。

3. 予告なしの審査で判明した人権行動規範への適合性に関する不適合の所見が組織によって適切に解決されていないとASCが判断した場合、CoC認証書を停止する

→ この提案では、CoCの審査員は人権行動規範の実施状況の検証に関与しない



Setting The
Standard for
Seafood

人権に関する提案：ASCの役割

ASCは高リスクの認証書の所有者を特定し、審査を実施するためのエージェントを選定する

1.

データに基づくリスクツールを適用して、以下のリスク要因を含め、予告なしの審査の対象として選定する高リスクの認証書の所有者を特定する：

- 活動、所在地、事業規模
- パフォーマンス履歴
- 移民労働者の使用
- 第三者による審査および所見の承認
- 新たに生じる課題 → 労働者の声からのインプット

2.

行動規範の全部または一部の実施状況を検証するため、**リスクに基づく予告なしの人権審査**を実施する有資格のエージェントを選定する。エージェントはNGO、ASCの審査員、またはコンサルタントであり得る

3.

以下を包含する**透明性の高いプロセス**に従う：

- 関連するリスク要因
- 審査報告書の内容と形式
- 審査における最良実務のアプローチ
- 是正措置を含む所見と解決
- タイムラインと制裁
- 結果の公表

4.

必要に応じて、是正のプロセスにおける**コンサルタント**または**NGOの支援**の選択肢を提供する

5.

時間をかけて、労働者の声などの分野において企業向けの**支援リソースとツール**を開発する



Setting The
Standard for
Seafood

CHANGE

人道的な絞め



Setting The
Standard for
Seafood

人道的絞め：背景

関連するサプライチェーンの企業に向けた、ASC養殖場における人道的な絞めに関するASCのアニマルウェルフェア要件の紹介

- ASC養殖場基準には人道的な絞めに関するアニマルウェルフェア要件が含まれており、魚は4.1.3、甲殻類は4.2.3である。
- 絞めは、養殖場の認証単位の外である養殖場以降のサプライチェーン（例：第一次加工業者）で実施される。
- ASCは、絞めが場所を問わず人道的に実施されることの保証を目的としている。

ASC養殖場基準の詳細はASC養殖場基準を参照



人道的な絞め：提案

ASC養殖場における人道的な絞めに関するASCのアニマルウェルフェア要件は、絞めを実施するサプライチェーンの企業に適用することを提案している

- 人道的な絞めに関する該当するASC養殖場基準のアニマルウェルフェア要件（4.1.3 [魚] および4.2.3 [甲殻類]）を、絞めを実施するサプライチェーンの企業に適用することを提案している。
- 養殖場以降のサプライチェーンで発生する絞めは、認定ASC養殖場審査員が審査し審査報告書を作成し、CoC審査員が適合性レターを検証することをASCは提案している。
- ASCは一部の審査に立ち会い、自ら評価を実施し、審査機関に認証書の停止を指示する場合がある。
- 手順の詳細はモジュール案の付属書2および3に記載してある。



CHANGE

食品安全



Setting The Standard for Seafood

食品安全： 背景およびデータレビュー

- 2024年5月30日以降、ASCのCoCの加工業者および包装業者には、GFSIに認められた認証またはISO 22000の認証が要求される
- 限られた数の企業が、同等性の実証によって要件を満たすことを選好または必要としている

提案する改善の策定に資するよう、ASCがデータをレビューした：

- 実施状況、地域別および食糧安全スキームごとの傾向、想定される課題を監視するため、1,000件超のCoC審査報告書をレビューした
- 食品安全に関連するCoCの停止
- 進行中の措置の証拠を伴う期限延長のバリエーションリクエスト
- 照会およびFAQからのフィードバック
- 初期のCoCモジュール見直しに関するパブリックコンサルテーションからのインプット



Setting The
Standard for
Seafood

食品安全：提案

ASCは修正を加えたうえで食糧安全要件を維持することを提案する：

- 要件を適格性要件から基準の条項へ移し、条項違反時には直接の停止ではなく不適合の発生を可能とする
- 企業の食品安全の認証書が無効になった場合に2日以内に審査機関へ通知する義務を削除する
- GFSI認定またはISO 22000認証と許容できる同等性があるとASCが評価した他の食品安全プログラムの承認を含める（例：Japan Food Safety Management B
- 免除の金額閾値を200万ユーロから1,000万ユーロへ引き上げる



その他のトピック：MSC
CoCの整合、デジタルト
レーサビリティ（追跡可
能性）および改良製品



Setting The
Standard for
Seafood

MSC CoCの整合 ほか

本レビューはMSC CoCの整合など他のトピックも扱う

MSC CoCとの整合を維持する

- MSC CoCレビューのパブリックコンサルテーションも2026年3月に開始し、60日間実施する
- MSC CoCに組み込まれた箇所に関しては整合を図り、モジュールの一部条項を削除する
- MSCは不正脆弱性評価を採用しないことを提案する
- 人権、人道的な絞め、食糧安全はASCサプライチェーン・モジュールに特有である



その他のASCトピック

- トレーサビリティ（追跡可能性）および適合性のセクションにおける改善と追加
- デジタル・トレーサビリティ（追跡可能性）の重要性をより強調するが、修正は小規模にとどまる
- 改善を目的とする製品はまだ含まれていない



Setting The
Standard for
Seafood

ぜひ皆様へ共有してください

意見募集期間は3月2日から5月2日まで

- [相談に関するアンケートへのリンクはこちら](#)
- 利害関係者向けQ&Aセッションへの参加登録：
[3月23日 10:00 \(UTC\)](#)
[3月23日 : 17:00 UTC](#)
- [改訂版モジュールおよび詳細情報はここで確認できる。](#)



ご協力ありがとうございます。



**Setting The
Standard for
Seafood**

**Aquaculture Stewardship Council
Maliebaan 50-B, 3581 CS Utrecht, The Netherlands
Tel: +31 30 230 5929**

**www.asc-aqua.org
communication@asc-aqua.org
Aquaculture Stewardship Council, 2016**

Aquaculture Stewardship Council Limited, 27 Old Gloucester Street, London, WC1N 3AX. The ASC is a charity registered in England and Wales no 1150418. A non-profit making company limited by guarantee. Registered in England no 08172832. The ASC logo is a registered trademark.